

# 別府市で分譲地

Seed Home

ロトルア市をモデルに

Seed Home

(本社「埼玉真草加市、須田恒弘社長」は、大分県別府市の分譲地「スバランド豊海」でニューシ

モデルにした街づくりを行う。さとうベネック(本社「大分市」)などと提携して進めているもので、中心部にロトルア市の博物館の外観を再現した大型施設「イメーシ図」を建設し、街のシンボルと

する。

別府市がロトルア市と姉妹都市提携をむすんでいることが、ニューシランドをモデルとしたキッカケだ。約3万平方メートルの住宅地に、ニューシランドの資材などを活用した住宅を建設。構造は木造軸組工法として、ニューシランドのバイン材を集材材にして使う。

大型施設の面積は約6500平方メートル。利用方法は未定だが、別府市を有名にしている温泉を生かし、街の活性化につながる施設とする。現時点では、老人ケア施設などが候補になっている。

同社ではNPO法人「日本まちづくり推進協議会」を結成しており、分譲地の国際交流事業を拍うことになる。早ければ来年の夏には、大型施設が竣工する。地域の振興と国際化を象徴する事業として、注目を集めそうだ。

